

まつぶしちょうりつかなすぎしょうがっこう 松伏町立金杉小学校

収穫体験・文化体験



第5・6学年

特色

- 学校応援団の協力を得て、毎年5年生が稲作を体験している。今年
は田植えを教員で行い、児童は「稲刈りと脱穀」を体験できた。
- 6年生は、修学旅行の代替行事として、「アマビエ灯籠づくり」を
体験した。青森ねぶた祭りの「ねぶた師」の指導のもと、ねぶた和
紙を使って思い思いのアマビエを描いて灯籠を制作した。コロナ
禍の中、医療に従事する方々への感謝を感じながら伝統文化に触
れる体験ができた。町の施設にも灯籠を寄贈する。

児童生徒 の感想

- 「米づくりの苦勞がわかった。農家の方へ感謝の気持ちを持ってご
飯を食べたいと思うようになった。」（5年）
- 「ねぶたの材料で灯籠づくりを体験でき、日本の伝統文化を学ぶ機
会となった。偏見や差別についても考えることができた。」（6年）

成果

- 毎年行っている田植えや稲刈り、脱穀などの体験を通して、農業と
お米の大切さを理解することができた。
- アマビエ灯籠では、人々のつながりやコロナによる人権問題につ
いて考え、偏見や差別をなくし、自他を尊重することを学んだ。